

会津の涼景～会津の水辺の風景をご紹介します～

立秋を過ぎたとはいえ、会津もまだまだ暑い日が続いています。
会津若松市は会津盆地の東南に位置し、夏は盆地特有の蒸し暑い気候となります。
そんな会津での夏の楽しみといえば、猪苗代湖の湖水遊びや花火大会、キャンプ場でのバーベキューなどが人気ですが、今回は涼を求めて会津の水辺の景色をご紹介しますと思います。

湯川



会津盆地を流れる湯川は会津布引山を源流とし、東山温泉や市街地南部を流れる市民に親しまれている川です。

上流には伏見ヶ滝、雨降り滝等があり、清冽な流れの中に優美なすがたを見せてくれています。特に高さ約10メートル、36個の岩盤が河段を形成し、あたかも雨が降り注ぐような様から名付けられた

「雨降り滝」は真夏の暑さを一時忘れさせてくれるような佇まいを見せてくれています。



雨降り滝手前がある馬頭観音像。

昔旅人が雨宿りをした洞窟に優しいお顔立ちの馬頭観音が祭られています。

今でもそっと観光客の安全を見守っていてくれるかのようです。

(撮影日 2013/7/23)



鶴ヶ城

大河ドラマ「八重の桜」でも描かれました難攻不落の名城 鶴ヶ城。

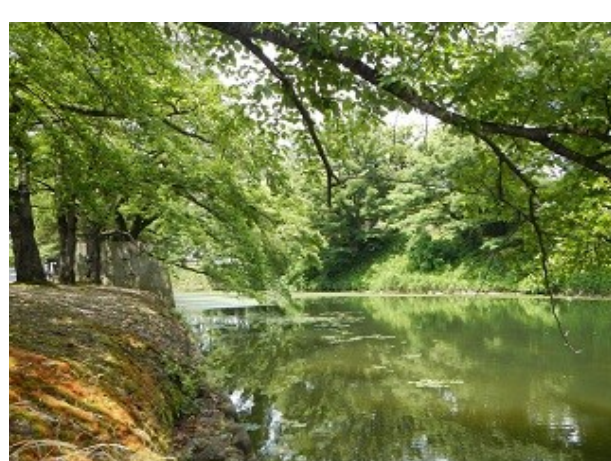
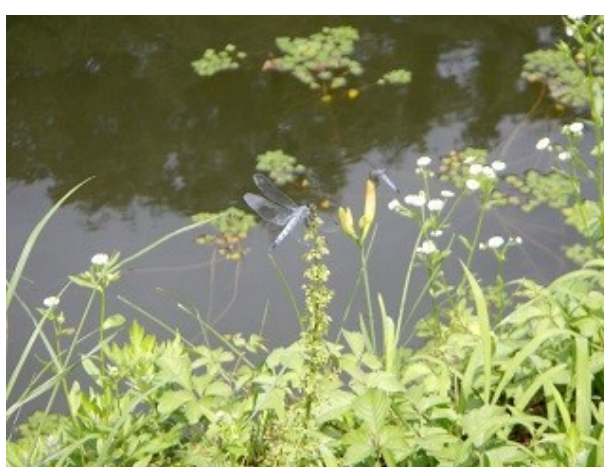
そのお城を守っていたお堀は現在、役目を終えて静かに水を湛えています。

お堀にはコイ、フナ、草魚などの魚のほか、亀が泳ぎ、キビタキ、カワセミなどの野鳥もやって来ます。

それにトンボの種類も豊富で、夏空を楽しむように飛翔する姿も見られます。

お堀端に立つ木々が作る木陰の下、水面を渡る涼風を受けながら散策するのも、また楽しく感じられます。

(撮影日 2013/7/20)



滝沢不動滝



飯盛山近くを流れる不動川の白糸社内にある滝沢不動滝。

会津三十三観音巡りの十八番札所でもある滝沢観音堂も祭られている霊場でもあります。

街の喧騒を離れた神域で、美しい姿を見せてくれています。

(撮影日 2013/8/7)

会津は米どころ、酒どころでもあります、それを支えているのが豊かで美しい水です。この夏、涼を求めて会津の水辺を巡ってみてはいかがでしょうか。